

くすりのしおり

内服剤

2015 年 01 月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：ファモチジン錠 10mg 「TBP」

主成分：ファモチジン (Famotidine)

剤形：白色～微黄白色の錠剤、直径 6.6mm、厚さ 3.1mm

シート記載：（表）ファモチジン錠 10mg 「TBP」、TBP272

（裏）FAMOTIDINE 10mg 「TBP」、ファモチジン錠 10mg 「TBP」、TBP272



この薬の作用と効果について

胃の壁細胞にあるヒスタミン H_2 受容体を選択的に遮断し、胃酸分泌を抑えます。

通常、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison 症候群の治療や、急・慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変の改善に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は<<< :医療担当者記入>>>
- ・胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison 症候群：通常、成人は 1 回 2 錠（主成分として 20mg）を 1 日 2 回朝食後、夕食後または就寝前に服用します。また 1 回 4 錠（40mg）を 1 日 1 回就寝前に服用することもあります。
- ・急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変：通常、成人は 1 回 1 錠（主成分として 10mg）を 1 日 2 回朝食後、夕食後または就寝前に服用します。また、1 回 2 錠（20mg）を就寝前に服用することもあります。
- ・いずれも、治療を受ける疾患や年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気づいた時にできるだけ早く 1 回分を飲んでください。ただし、次の服用時間が近い場合は、1 回とばしてください。絶対に 2 回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹・皮疹、蕁麻疹、顔面浮腫、便秘、月経不順、女性化乳房などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・呼吸困難、蕁麻疹、めまい [ショック、アナフィラキシー]
- ・全身倦怠感、皮下出血、発熱 [再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、溶血性貧血、血小板減少]
- ・高熱、目の充血、皮膚の広い範囲が赤くなる [皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死症]
- ・食欲不振、倦怠感、皮膚や白目が黄色くなる [肝機能障害、黄疸]
- ・筋肉痛、脱力感、尿の色が赤褐色になる [横紋筋融解症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。